

CS こひつじ科礼拝式次第

2022年5月22日 午前9時30分

2022年度年間テーマ：「イエス様の祈り『主の祈り』によって、祈ることを身につけよう」

テーマ曲：ワワワいっしょに（92番）

暗唱聖句：「罪の支払う報酬は死です。しかし、神の賜物は、わたしたちの主イエス・キリストによる永遠の命なのです。」
ローマの信徒への手紙 6章23節

4、けさもわたしの（こどもさんびかをお用ください）

おいのり 礼拝に招かれたことを感謝しましょう

せいしよ 創世記 3章14～24節

主なる神は、蛇に向かって言われた

「このようなことをしたお前は あらゆる家畜、あらゆる野の獣の中で呪われるものとなった。お前は、生涯這いまわり、塵を食らう。お前と女、お前の子孫と女の子孫の間にわたしは敵意を置く。彼はお前の頭を砕き お前は彼のかかとを砕く。」

神は女に向かって言われた。「お前のはらみの苦しみを大きなものにする。お前は、苦しんで子を産む。お前は男を求め 彼はお前を支配する」

神はアダムに向かって言われた。「お前は女の声に従い 取って食べるなど命じた木から食べた。お前のゆえに、土は呪われるものとなった。お前は、生涯食べ物を得ようと苦しむ。お前に対して土は茨とあざみを生えいでさせる 野の草を食べようとするお前に。お前は顔に汗を流してパンを得る 土に返るときまで。お前がそこから取られた土に 塵にすぎないお前は塵に戻る。」

アダムは女をエバ（命）と名付けた。彼女がすべて命あるものの母となったからである。主なる神はアダムと女に皮の衣を作って着せられた。

主なる神は言われた。「人は我々の一人のように、善悪を知る者となった。今は、手を伸ばして命の木からも取って食べ、永遠に生きる者となるおそれがある。」

主なる神は、彼をエデンの園から追い出し、彼に、自分がそこから取られた土を耕させることにされた。こうしてアダムを追放し、命の木に至る道を守るために、エデンの園の東にケルビムと、きらめく剣の炎を置かれた。

おはなし

「救いの約束」

五十嵐美代枝先生

先週、最初の人アダムとエバが、へび（サタン）にだまされて神さまから食べてはいけないと言われた園の中央の木の実を食べてしまい、人間は神さまに対して罪をおかして、罪人となってしまったということ学びました。

神さまは正しいお方なので、間違っただけやいけないことをそのままにしておくことはできません。決してそのまま許すことはできないのです。それで罪をおかした人間は神さまから罰を受けます。今日

の聖書にそのことが書かれています。エデンの園から追い出され、神さまから離れてしまい、女の人は苦しんで子を産むこと、男の人は一生働いて食べるものを得ること、そして人間はみな必ず死ぬということです。

最初の間が罪をおかして罪人となってしまったので、そのあと生まれた人間はみな、すべて同じ罪人となってしまいました。ですから今こうして生きている私たちもアダムとエバと同じ罪人です。

それでは、生きていていいことなんかないように思ってしまうですね。でも、大丈夫です。神さまはあわれみ深く、愛のお方です。罪深い私たちを愛して下さり救われる道の一つ下さいました。それもむずかしい方法で。これができなければいけないとかそういうことはありません。ただ、イエスさまを罪からの救い主と心から信じることだけです。

神さまは私たちの罪をゆるして救うためにイエスさまをこの世界におくって下さいました。イエスさまは私たちの罪を代わりに背負って十字架につけられて死んで下さいました。死ぬべき罪人の私たちの代わりに死んで下さったのです。それにより私たちの罪はゆるされました。そればかりではなく、三日目によみがえり天の国に上られたイエスさまと同じように、私たちも永遠の命が与えられ、天国に行くことができるのです。イエスさまのように神の子としていただけるようになったのです。こんなすばらしいことはありません！ですから希望をもって生きていきましょう！

このすばらしい救いにつながるものがなんと、アダムとエバが神さまにそむいて罪をおかしたすぐあとに、もう、約束されているということが今日の大切なところで覚えていてほしいところです。それが創世記3章15節の御言葉です。「彼はお前の頭を砕き お前は彼のかかとを砕く。」のところ。簡単に言うと、彼＝人間（女の子孫＝イエスさま）、お前＝へび（サタン）なので、人間はサタンの頭を砕いて、サタンは人間のかかとを砕くので、人間が勝つということ。そして「彼＝人間」の人間はイエスさまにつながり、神の御子イエスさまがサタンに勝ち、サタンは滅びるということをあらわしています。神さまは人間が最初に神さまとの約束をやぶってしまった時からすぐに（罪をおかしてしまっただけから）人間を救う約束をしてくださっていたのです。私たちを大切に思って愛してくださっていたのです。本当に感謝です。

このことを覚えて感謝してこれからも神さまと共に歩んでいきましょう。

* 小さなお子さまには、話の内容等をわかりやすく、年齢に合わせて噛み砕いてお話くださいますようお願い致します。

（けんきん）会堂2階掲示板下の机に献金箱を設置しました。

おいでの際におささげください。

71、主イエスとともに（こどもさんびかをお用ください）